

理学院数学コースでの科目履修

新M1・D1(令和5年度入学)対象

令和5年4月6日 数学系教育委員会

用語の定義(学修案内 p. 2)

- **文系教養科目** := 文字通り「文系の教養科目」
- **キャリア科目** ≡ 「社会人」的なスキルを磨く科目
- **専門科目** := 数学コースが開講する数学の講義(集中講義も含む)
- **講究科目** := 指導教員とのセミナー
- **研究関連科目** := 指導教員とのセミナー

修士課程の修了要件(学修案内 p. 1,2)

- (修士課程で履修すべき科目) 科目コードの数字が3桁が400番台か500番台の科目を 31単位以上, 下記の条件を満たすように履修する
 - 文系教養科目: 400番台から2単位以上 + 500番台から1単位以上
 - キャリア科目: 2単位以上
 - 講究科目: 400番台から4単位 + 500番台から4単位
 - 研究関連科目: 400番台から4単位 + 500番台から4単位
 - 専門科目: 8単位以上

修士：キャリア科目の履修(学修案内 p. 7,8)

- キャリア科目は数学コースでも独自に開講しています：

- 数理科学特別演習 A～D

- 研究者向けセミナーへの参加・発表など
- オープンキャンパスなどでのポスター発表など

- 数理科学キャリア特別実践

- 修論の予備審査など

- 数理科学インターンシップMA, MB

- 企業・研究所等におけるインターンシップ

修士： 講究科目・研究関連科目の履修(学修案内 p.10)

■ 標準的な履修方法

- M1前期：数学講究 S1 + 数学特別研究S1 のペアで履修 (400番台)
- M1後期：数学講究 F1 + 数学特別研究F1 のペアで履修 (400番台)
- M2前期：数学講究 S2 + 数学特別研究S2 のペアで履修 (500番台)
- M2後期：数学講究 F2 + 数学特別研究F2 のペアで履修 (500番台)

博士後期課程の修了要件(学修案内 p.12,13)

- **(博士課程で履修すべき科目)** 科目コードの数字が3桁が600番の科目を履修する
 - 文系教養科目: **2単位**以上
 - キャリア科目: **4単位**以上
 - 講究科目＋研究関連科目: **12単位** ＋ **4単位**以上
 - 専門科目: **2単位**以上
- **(学位論文)** 学位論文を書き, 学位審査に合格する

博士： 数学コースが開講するキャリア科目(p. 17, 18)

■ 数理科学キャリア開発 A～D

- 研究集会・研究者向けセミナーへの参加・発表など

■ 数理科学チュートリアル実践 A～D

- TA や 数学相談室での勤務など

■ 数理科学キャリア特別発展

- 学位論文（博士論文）の予備審査など

■ 数理科学インターンシップDA, DB; ジョブ型研究インターンシップ

- 企業・研究所等におけるインターンシップ

数学系HPにある「学部・大学院シラバス」の「大学院課程キャリア科目」参照

博士： 講究科目・研究関連科目の履修(学修案内 p.21)

■ 標準的な履修方法

- D1前期：数学講究 S3 + 数学特別研究S3 のペアで履修（600番台）
- D1後期：数学講究 F3 + 数学特別研究F3 のペアで履修（600番台）
- D2前期：数学講究 S4 + 数学特別研究S4 のペアで履修（600番台）
- D2後期：数学講究 F4 + 数学特別研究F4 のペアで履修（600番台）
- D3前期：数学講究 S5 + 数学特別研究S5 のペアで履修（600番台）
- D3後期：数学講究 F5 + 数学特別研究F5 のペアで履修（600番台）